



しがレクからのおたより

令和2年度 第2号 2020.9発行

滋賀県レクリエーション協会 事務局 発行

送信・返信先 〒525-0052 滋賀県草津市西矢倉 3-17-13 黒川かず江方



お元気ですか

コロナウイルス禍は収まることなく続いています。滋賀県でも多くの方が被害にありますが、会員の皆様はいかがでしょう。レク活動は3蜜の関係でほとんど停止状態ですが、新しい方法を模索しながら、多くの方々に『心の健康づくり』をお届けしたいと思います。各地で実際に活動されている皆様のさらなるご努力を期待しています。

レクは心を豊かにするだけでなく、生きる力を与えてくれる不思議な力を持っています。私たちレク指導者は、このことを信じて明日に向かって邁進していくことが必要です。多くの会員の力強い朗報を協会にお寄せいただき、会員の共通認識として、たくましいレク協会を更にたくましく成長させていきたいと思っています。みんなで力を合わせて、この難局を乗り越えたいと思います。どうぞ多くの方々の力を一つにまとめて、大きな力にしていってください。

会 長 前 山 亨

事業の中止について

滋賀県レクリエーション協会では、コロナウイルスによる社会情勢を鑑み、今年度は滋賀県レクリエーション大会およびグループレクリエーション・サポーター研修会を中止することとなりました。まだまだ今後の情勢が見通せない状況ですが、感染状態が落ち着いてきたら、次年度より順次再開していく予定です。3密を避けながら、引き続きレクリエーション活動の普及発展にむけてご協力をお願いいたします。

スポーツの広場

障害者スポーツ広場（大津会場・東近江会場）のお知らせ

昨年度より、滋賀県障害者スポーツ協会の事業「スポーツ広場」のお手伝いをしています。

残念ながら、東京オリンピック・パラリンピック及び滋賀県での国スポ・障スポは、コロナ禍の中、開催が延期されることになりましたが、「地域・行政・施設との連携を深め、障害者が身近な地域で気軽にスポーツに親しむ機会の拡大と継続的なスポーツ活動の定着を図るとともに、障害者スポーツの普及・振興を目的」とする障害者スポーツ広場が今年度も開催されています。

本年度は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、8月までの予定は中止となりましたが、9月に入って再開されました。

滋賀県レクリエーション協会としては、淡海レク指協が平成30年度から始まった大津会場で、東近江市レクリエーション協会が令和元年度から始まった東近江会場で協力団体として、スポーツレクリエーションのコーナー（大津市会場）、ラダーゲッター（東近江市会場）の体験教室を実施しています。

東近江会場では9月12日（土）、大津会場では、9月26日（土）に今年度第1回目のスポーツ広場が行われました。新型コロナウイルス感染予防対策として、密を避けるため、参加者の人数制限をしておこなった実施で、指導者も最小限の人数での実施でしたが、暑かった夏もようやく陰りを見せ、みんなで気持ちの良い汗を流すことができました。

なお、今年度からは栗東会場も新たに増え、県内3会場で開催されています。

○東近江会場 東近江市立五個荘体育館
10/17(土)、11/28(土)、12/5(土)



東近江会場（9月12日）

○大津会場 におの浜ふれあいスポーツセンター
12/19(土)、1/16(土)



大津会場（9月26日）

感染症対策のため、指導者の人数に制限がありますが、お手伝いいただける方は、事務局や淡海レク指協までお問い合わせください。

（溝江 透）

会員の活動報告

滋賀県スポーツチャンバラ協会

「スポーツチャンバラ」は、昭和45年に創設されたころは、小太刀護身道の名称としてスタートしています。

打突に使用する得物は、空気を注入して使用するので体にあたった際に衝撃が少なく、怪我の心配もありません。ただ、目・耳・頭部を保護するために面をかぶります。服装は、原則自由で運動・スポーツができるスタイルであればオーケーです。

種目は、小太刀、長剣、二刀、棒、槍、盾小太刀等があり、級位・段位に応じて試合をおこないます。試合は、1分一本勝負で、決勝のみ3分二本先取りでおこないます。大会は、滋賀県、近畿、西日本、全国、世界大会と様々なカテゴリーに分かれて開催されています。

老若男女に関係なく、気楽にできるスポーツですが、武道の礼節等も勉強しながら日々練習に励んでいます。

滋賀県スポーツチャンバラ協会は（公財）滋賀県スポーツ協会にも加盟しており、2025年の「びわ湖国体」ではデモ競技に内定しています。

初心者でも簡単にできますので、是非、気軽に体験してみてください。各練習教室はホームページをご覧ください。



ホームページ：<http://www.shiga-spochan.net/>

E-mail info@shiga-spochan.net



フォローアップセミナーのお知らせ

会員限定記事

日本レクリエーション協会 公認指導者資格を取得し、
滋賀県会員になるとご覧いただけます。

場所：大津市生涯学習センター

新コーナー レクリエーションの小ネタ

セラピューティックレクリエーション

福祉レクリエーションの土台となっているセラピューティックレクリエーション（TR）は、アメリカにおいて二つの領域から始まりました。医療の領域では、第1次世界大戦後、米国赤十字が軍人のための病院や回復期のセンターなどにレクリエーションサービスの提供を始めたことに端を発します。この時のレクリエーションは、気晴らしと治療の両方の目的をもって行われていました。地域的な領域では、19世紀に展開されたレクリエーション運動やセツルメント運動等の展開から都市のスラム街の中でレクリエーションの必要性が注目されました。レクリエーションがスラムの子ども達の非行を防止し、健康を促進させる可能性があると考えられました。これは後のプレイグラウンド運動につながります。1950年代に人権運動が盛んになり、地域の在宅障害者のためのレクリエーションサービスも活発になってきました。60年代には、刑務所や少年院の中において更生のための教育プログラムの一環としてレクリエーションが活用されるようになりました。

このように医療と地域の2つの流れがあるためそれぞれの専門職たちがその理念や目的に対して異なった考えを持ち、長く議論されてきました。用語においても Therapeutic recreation, Recreation therapy, のどちらを使うかでもめめました。レクリエーションが持つ自発的、自由選択という要素を考えると治療（therapy）を強調すべきではないという意見があります。しかし医療機関の中で保険点数を取るためにも明確な治療計画に基づいている意味合いを示す therapy を使うべきであるというグループとで分かれてしまいます。いったん Therapeutic Recreation でおさまったはずなのですが、近年アメリカでは、Recreation Therapy が使われることが多くなってきています。

ここで大事なことは、レクリエーションが持つユニークさを大切にすううえで、医療分野が大事にしている治療であっても、また地域分野が取り組むすべての人たちのためのレクリエーションの機会の提供であっても最終的に TR が目標とするのは、「楽しむことができるようになる」ということです。それを目標とするサービスは、アメリカではセラピューティックレクリエーション、日本では福祉レクリエーションしかないと言えます。この「楽しむことができる」ことが「健康」につながり、「生活の質」や「幸せ」につながっていくことを見失わず、それぞれの分野で活かされて行ってほしいと思います。

（マーレー寛子）